



2026年3月17日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 楠元 健一郎  
(コード7918、東証スタンダード市場)  
問い合わせ先 執行役員コーポレート企画部長 西村 良  
電 話 番 号 03-5155-6801

## 監査等委員会設置会社への移行及び経営体制見直し並びに役員の変動に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年6月26日開催予定の第90回定時株主総会における承認を条件として、監査等委員会設置会社へ移行する方針を決議するとともに、経営体制の見直し並びに役員の変動について決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、経営体制の見直し並びに役員の変動につきましては、2026年4月1日より実施する予定です。

### 記

#### 1. 移行の背景および目的

当社グループは、中期経営計画「未来計画 Next」に基づき、収益構造の再設計&移行および人材総活躍モデルの進化を柱とする構造改革を推進しております。

当社は現在、収益構造改革を着実に実行し、外部環境に左右されにくい安定的かつ持続的な収益体質への転換を図る重要な局面にあります。この改革を加速させるためには、経営の監督機能と業務執行機能をより明確に分離し、迅速な意思決定と実効性あるガバナンス体制を両立させることが不可欠であると判断いたしました。

具体的には、本社機能と事業子会社本部の一元化および子会社における取締役会非設置会社への移行等を推進しており、これらの所謂「ワンカンパニー化」による組織のスリム化と本移行をあわせることで、経営資源の最適配分、情報資産の管理と有効活用の精緻化と高度化、迅速な意思決定を徹底してまいります。

本移行は、単なる機関設計の変更ではなく、構造改革を確実に実行するための経営基盤の再構築と位置づけております。

#### 2. 移行後の体制の方向性

監査等委員会設置会社への移行にあたり、当社は以下の方向性で経営体制の見直しを進めてまいります。

- 社外取締役比率の一層の向上  
独立性の高い監督機能を強化し、経営の透明性および客観性を一層高めます。
- 戦略的経営と迅速な業務執行の推進  
取締役会では中長期戦略および重要方針の決定に集中し、経営の意思決定の迅速化と監督機能の強化を両立することで、経営スピードの向上を図ります。
- 取締役会のスリム化  
取締役会の構成を最適化し、実効性の高い議論および機動的な経営判断を可能とする体制を構築します。
- 子会社の取締役会非設置会社への移行  
子会社については、意思決定の迅速化と責任体制の明確化を目的として取締役会非設置会社への移行を進め、取締役を1名とする体制とするとともに、当社代表取締役がこれに就任

することで、グループ経営の一体化および迅速な意思決定を図ってまいります。

● CEO・COO体制の導入

グループ全体の経営戦略の統括と事業執行の役割を明確化するため、CEO（最高経営責任者）およびCOO（最高執行責任者）による体制を整備し、戦略と執行の分離を一層推進してまいります。現行の当社代表取締役社長である楠元健一郎がCEOに、同取締役兼専務執行役員である石岡健生がCOOに就任いたします。

これらにより、外部環境の変動に左右されにくい、持続的な収益体質への転換を推進してまいります。

3. 役員の異動（2026年4月1日付）

取締役

氏名	新役職	現役職
楠元 健一郎	代表取締役社長兼 CEO 子会社代表取締役社長	代表取締役社長 子会社代表取締役社長
石岡 健生	取締役兼専務執行役員兼 COO	取締役兼専務執行役員

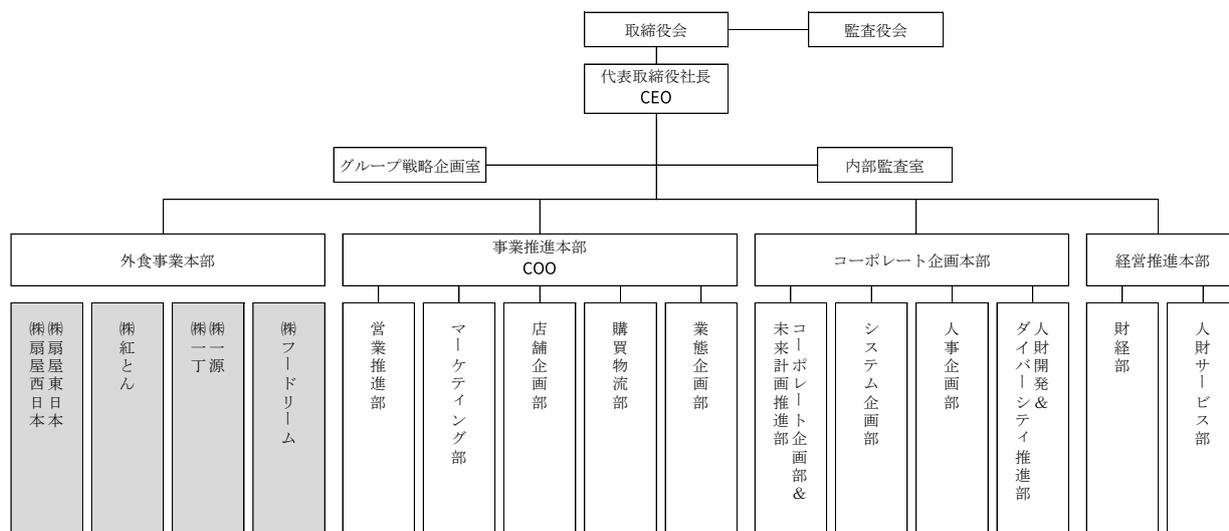
執行役員

氏名	新役職	現役職
森 武	執行役員 扇屋事業本部長	(新任)
中野 健一	執行役員 紅とん事業本部長	(新任)

4. 今後の予定

監査等委員会設置会社への移行に伴う定款の一部変更及び役員体制の詳細につきましては、決定次第速やかにお知らせいたします。

(参考：組織体制 4月1日付)



※子会社は取締役会非設置会社(取締役1名)